



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	一般国道294号 真岡市 ^{くげた} 久下田～ ^{てらうち} 寺内 二宮拡幅 L=4,100m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

I 事業の概要

【目的】

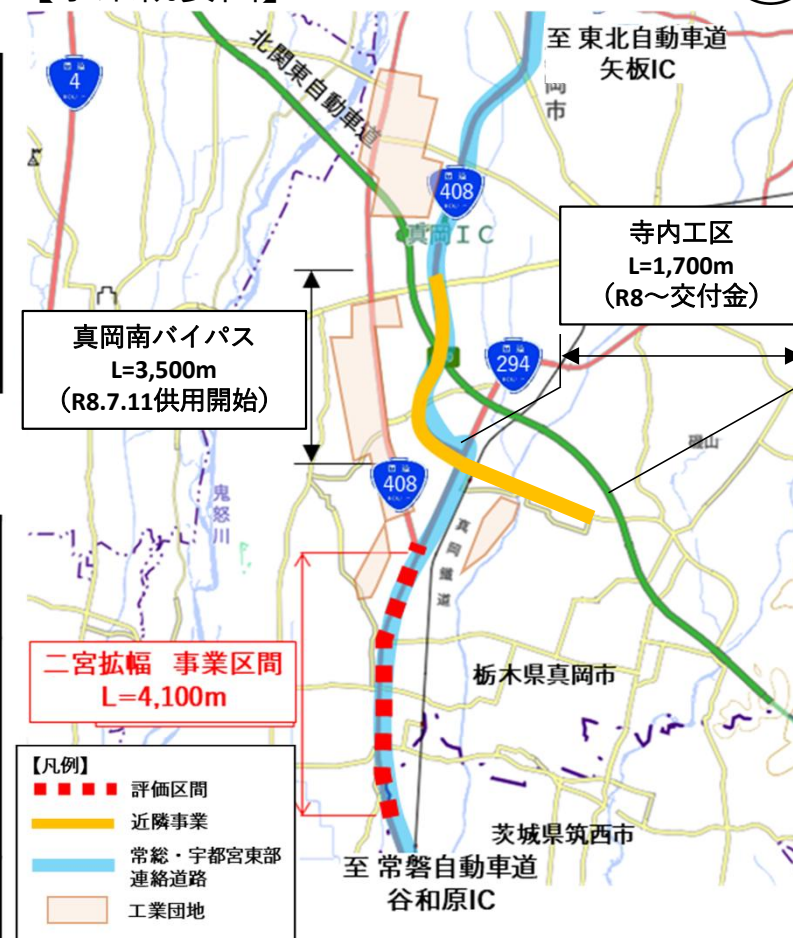
一般国道294号は、常磐自動車道谷和原ICと東北自動車道矢板ICを結ぶ高規格道路「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を構成する広域道路である。

本工区北側では、国道408号真岡南バイパスが令和8年7月11日に完成4車線で供用開始したところであり、引き続き本事業区間においても4車線化を図ることで、地域間の連携・交流の強化や産業活動の支援等を図るものである。

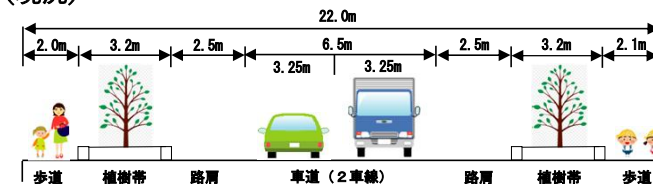
【現況】

目標事業期間 (変更前)	令和 2 年度～令和 9 年度		
事業経過	令和元年度	新規事業評価	
	令和 2 年度	用地調査・用地取得等に着手	
	令和 3 年度	工事着手	
	令和 8 年度	再評価（今回）	
全体事業費 [うち用地補償費]	49.0（37.0）億円 [3.5（ 3.5）億円] ※（ ）は前回評価時		
事業延長 [うち整備済延長]	L = 4,100m [L = 0m]		
進捗率	基準年次：【令和 8 年度末時点】		
		費用	進捗率
	既投資事業費	35.0億円	71%
	[うち用地補償費	3.5億円	100%]

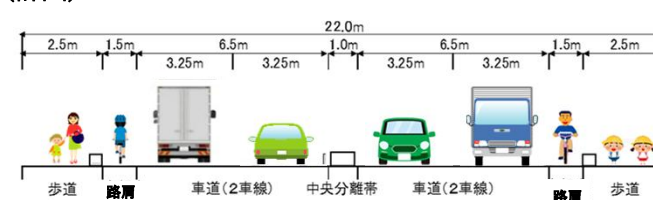
【事業概要図】



(現況)



(計画)

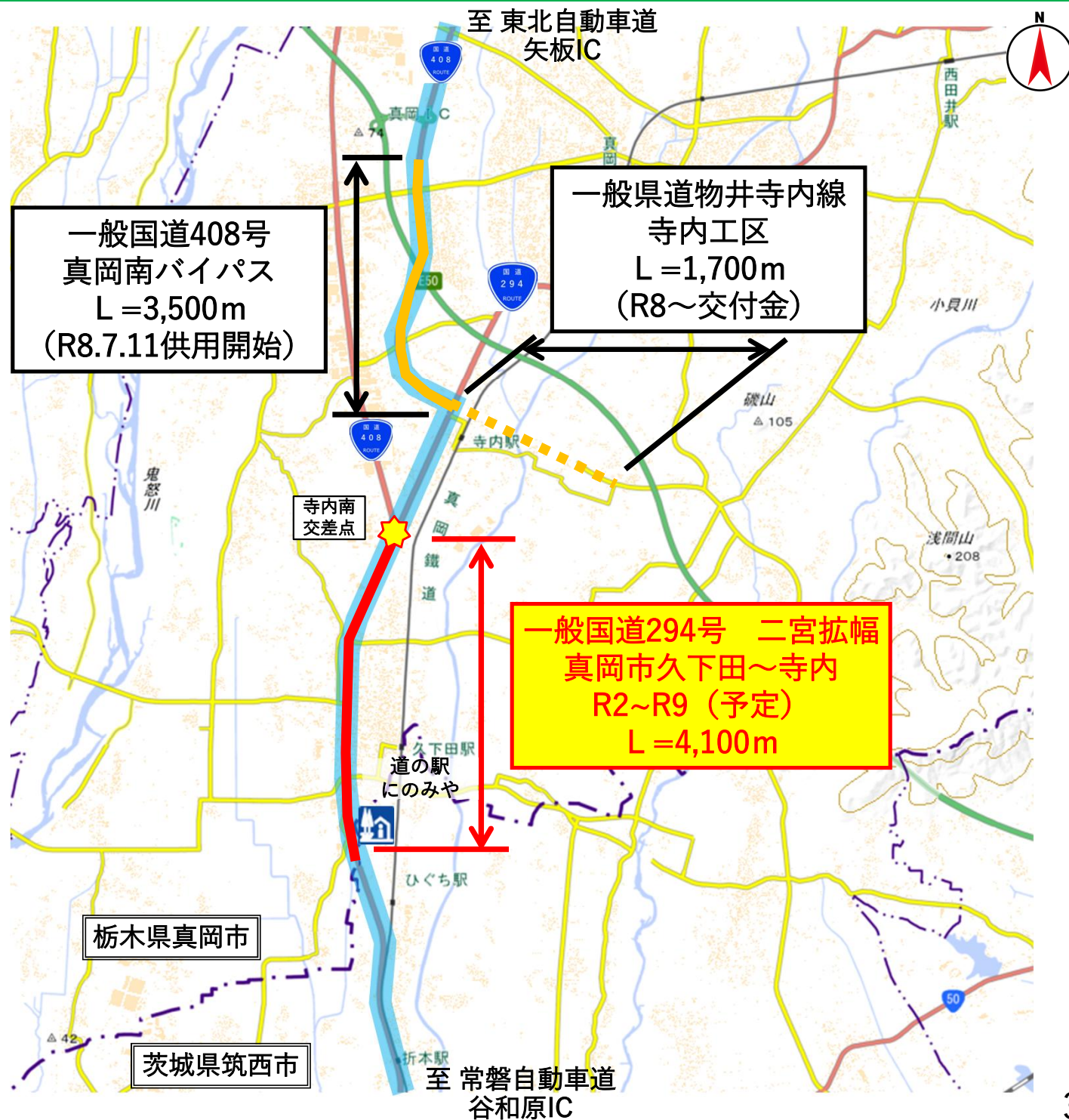


I 事業の概要

【箇所概要】



凡例	
事業箇所	—
事業済箇所	—
近隣事業	—
常総・宇都宮 東部連絡道路	—
主要渋滞箇所	★



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- ・事業期間の見直し
令和9年度 ⇒ 令和9年度
- ・総事業費の見直し
37.0億円 ⇒ 49.0億円

【全体事業費の見直し】

前回計画
(R6年度)

今回計画
(R8年度)

	事業費	37.0億円 ⇒ 49.0億円 (+ 12.0億円)
内	工事費	33.5億円 ⇒ 45.5億円 (+ 12.0億円)
訳	用地補償費	3.5億円 ⇒ 3.5億円 (± 0)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	3.8	198億円	53億円
(2)残事業	17.8	198億円	11億円

2 事業の整備効果等

- ・広域的な交流・連携の促進と地域の産業支援
- ・渋滞緩和による交通円滑化
- ・災害時の救援活動や物資輸送に資する緊急輸送道路としての機能強化

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和8年度末時点

1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 71%
- 用地 100%
- 工事 69%

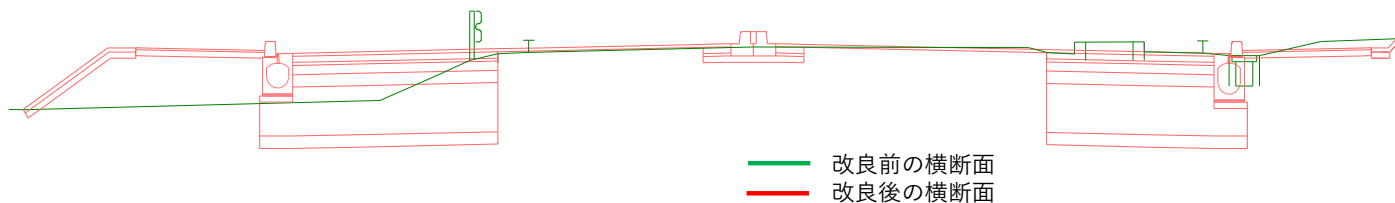
2 今後の事業進捗の見込み

- 工事を推進し、令和9年度を目標に事業完了を図る。

整備前



整備中(R8.4)



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
- 道路法面について、ライフサイクルコストの観点から、防草コンクリートを採用することで、維持管理費用の縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- 必要な事業用地は、現時点で100%取得済みであり、工事の一部実施していることから、代替案立案は困難である。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。